



図書館だより

2014年10月号 相可高校図書館

木の葉がだんだん色づいてきて、いよいよ秋も深まってきました。こたつやストーブ、あったかそうな洋服など、お店にはぬくぬくグッズがたくさん並び、また10月はハロウィンということでカボチャやコウモリなどでデコレーションされています。

図書館も負けずにカウンターと展示ケースをハロウィン仕様にして皆さんをお待ちしています。が、この時期、図書館が皆さんにPRしたいのは、なんと言っても「**読書週間**」。読書週間って何だったっけ・・・？という人に。

終戦の2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。いまの10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)になったのは、第2回からです。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。

読書推進運動協議会 HP より

今日、あなたは何を读みますか？



読書週間のポスターイラストは、富山県のイラストレーター、ゆえまつこさんが描いたもの。実際にポスターを見てもらうと分かるのですが、こどもがたくさんの本にかこまれて読書している、すてきなイラストです。



ご来場ありがとうございました ~文化祭報告~

今年は、**Recycle Book Market 2014**をテーマに、グッズ争奪じゃんけん大会と古本バザーを行いました。

たくさんの方にいらしていただいて、楽しい文化祭となりました☆



じゃんけん大会では、勝負席に座ると緊張するのか、それともサービス精神にあふれすぎているのか、図書委員はかなりの確率でじゃんけんに負けていたような気がしましたが、皆さんは委員に勝って、お好みのグッズをゲットしていただけましたでしょうか？

←鈴木先生と真剣勝負！結果は・・・

そして、バザーの売り上げは2,900円となりました。古本の提供をいただいた皆さん、お買い上げいただいた皆さん、本当にありがとうございました！！



ぜひ、読んでください ~2014 学校図書館司書大賞~

松阪地区の学校の司書7人がおすすめする本を展示・貸出するこのイベント、今年でなんと3回目となりました。

2学期中の貸出回数をカウントして、大賞を決めます。あなたの読んだ本は大賞に輝くでしょうか？



ノミネート作品

森沢明夫『大事なことほど小声でささやく』 朝倉かすみ『てらさふ』 山本幸久『ジンリキシャングリラ』 安部智里『鳥に単は似合わない』 朱野帰子『駅物語』 岸見一郎・古賀史健『嫌われる勇氣』 おかべたかし『目でみることば 2』

朝読で読んでもらえたら・・・という期待を込めて、私は『目でみることば 2』をおすすめしています。